

<b>科目名：歯科矯正学</b> ( Orthodontics ) 履修年次/時期：2年次 前期                      授業形態：講義 担当教員：山内 雅人（実務経験有）		必 1 単位
学修目標	現代歯科医療において不正咬合に対する歯科矯正治療の必要性は高まっている。歯科衛生士と歯科医師が基本的な知識を共有し協働的診療を進めるために、口腔・頭蓋・顎顔面の発生と成長発育、正常咬合・不正咬合、矯正診断の流れと診察・検査方法と、矯正力による生体反応、各種矯正装置の基本構造、適応症および作用機序、各種不正咬合の基本的治療法と必要な手技と器材を理解する。本講座は歯科矯正治療上、歯科衛生士に求められる知識、手技を把握し、さらに口腔衛生、食生活指導、口腔周囲筋の訓練などの基礎力を学ぶ事を目的とする。DP(3),CP(2・3・4)に関連する。 科目 No.S2C09H11	
到達目標	1. 矯正歯科治療の目的を理解する。 2. 正常咬合の概念、不正咬合の種類、分類法、原因、予防法および障害を理解する。 3. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生と成長発育およびその異常を理解する。 4. 矯正歯科治療における診断の流れと診察・検査方法を理解する。 5. 矯正力によって生じる生体反応を理解する。 6. 各種矯正装置の基本構造、適応症、作用機序を理解する。 7. 各種不正咬合の基本的治療法と必要な手技と器材を理解する。	
授業概要	本講義では、歯科矯正治療の概要を実際の症例の治療前後のスライドを豊富に用いて教授する。成長期と成人に対する歯科矯正治療は、その目的や内容、期間が大きく異なり、求められる知識や手技もそれぞれ特徴がある。また、使用する装置によっても、その基本構造や適応症および作用機序のみならず細かい手技が異なっている。将来、実際の歯科矯正臨床に関わることを前提として、より頻繁に用いられる矯正装置とその治療法に求められる知識、技術の習得を本講義の目的とする。さらに歯科矯正治療中の口腔内の保健管理、口腔周囲筋の訓練などの知識、技術も習得する。 各講義後に確認課題を提出して頂く。	
評価方法	筆記試験（90%）、講義後の提出課題（5%）、講義への参加度（5%） 提出課題に対するフィードバックは掲示で行う。	
予習・ 復習時間	【予習】0.5時間 【復習】0.5時間	
教科書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正 医歯薬出版	
参考書	新歯科衛生士教本 歯科機器 医歯薬出版 新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 医歯薬出版 歯科矯正学 第5版 相馬邦道他編 医歯薬出版	
問い合わせ 連絡先	山内：月～金 12:40～13:20、16:40～17:00 4号館 2階 山内研究室 yamauchi@kdu.ac.jp 不在時はメールで問い合わせください。	